

2016年度JIA九州支部大分地域会 第10回例会

日時 2017年3月21日(火) 19:00 ~ 21:00
会場 ホルトホール大分410会議室
出席者 JIA会員 出席12名、委任状2名
協力会員 11名、一般1名
議事録作成者 後藤 洋一
議事録署名人 後藤 靖二

1 報告事項

●建築視察旅行について（小島会長）

・伊東豊雄氏の建築が出来上がってきている台湾へ、懇親を深める建築旅行を企画したい。3泊4日で土日を挟めば負担が少なくて済むと考えている。費用は12~17万円くらいである。

●協力会員の紹介

新協力会員の(株)建築資料研究社（日建学院）さんに自己紹介をして頂きました。

2 田中圭先生による講演会

テーマ

「熊本地震でわかった木造住宅の現実と新しい木造建築のすすめ」

・熊本地震では、3日間で極稀地震が7回起ったこと、前震と本震で被害に大きな差があったことが報告されました。

・文化財の被害として、熊本城と阿蘇神社の被害状況を説明していただきました。熊本城では、天守閣のRC造は補強が行われておらず大きな被害があったが、木造の補強工事が行われていた宇土櫓はほとんど被害がなかった。



・益城町の調査結果を報告して頂きました。

伝統工法の住宅被害、シロアリで耐力を無くしている建物被害、改悪なリフォームが原因と思われる被害などがあつた。



・熊本地震でわかったこと

リフォーム時に耐震補強を行うよう、補助金を含めて検討が必要である。応急危険度判定の課題。設計、施工の配慮不足。地震地域係数の問題。文化財を守るには補強か意匠か？地震被害建物への補償と、耐震補強への補助と何が必要なのか？など多くの今後の課題を説明して頂きました。

・新しい木造建築物



・田中先生、震災の調査から今日の報告をして頂くまでに、多大なご苦労があったと思います。敬意を表しご尽力に感謝申し上げます。重ねて本日は貴重な講演をして頂き誠にありがとうございました。